

『Mind Charging』

第 32 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 5 月 17 日

マイルス・デイヴィスの名言



My future starts when I wake up every morning.

オレの未来は、毎朝起きた時にはじまる。

音楽や絵画、演劇などのいわゆる『芸術』に精通した人は、使う言葉もまた芸術的ですね。みなさんは音楽の中でジャズは聴きますか？私は聴かないです。でも、お店などで流れていると心地よく耳に入ってくる素敵なジャンルの音楽だと思います。

この言葉からは『今』の積み重ねが未来であり、過去は変えられないけど未来はいくらでも変えられるんだというエネルギーや、毎朝起きた時に自分をリセットして新たな気持ちで一日をスタートさせようというポジティブな考え方が読み取れます。そして、こういう言い回しをすることで、明日のことや、一年後くらいでも『現在進行形』で考えますが、彼からしたら一秒後さえも『未来』と捉えているように感じます。所詮、言葉の問題なのかもしれませんが、『一時間後』よりも『一時間後の未来』と捉えた方が、なんだか一時間経った時が楽しみに感じる気がします。例えば大変なことが一時間後に予定されていたとしても、それをどうやって少しでも楽しくクリアしようか考えたくありませんか？ 映画『アメリカン・ビューティー』で使われた『今日という日は残りの人生の最初の日』という言葉と、意味や感じるポジティブなパワーが、かなり近いものを感じる素敵な言葉です。

自分の中でポジティブになれるいくつかの『ルーティーン』を作り、自己肯定感とエネルギーに満ちた自分に成長していきたいものです。常に自分のことを励ましてくれる人、それは『自分自身』です。未来の自分に期待して今を頑張っていきましょう！

(編集委員：入試広報室 鈴木)

マイルス・デューイ・デイヴィス三世(Miles Dewey Davis III、1926年5月26日 - 1991年9月28日)は、アメリカ合衆国出身のジャズトランペット奏者、作曲家、編曲家。アルバム『ウォーキン』『カインド・オブ・ブルー』『ピッチェズ・ブリュー』など多くの作品で知られている。日本には彼を「モダン・ジャズの帝王」と呼ぶジャズ・ファンやジャズ評論家もいる。いわゆるジャズの巨人の一人。クール・ジャズ、ハード・バップ、モード・ジャズ、エレクトリック・ジャズ、クロスオーバー、ヒップホップ・ジャズなど、時代に応じて様々な音楽性を見せ、ジャズ界を牽引した。(Wikipedia 参照)